

情報処理学会コンピュータ科学教育委員会 報告

疋田輝雄

2007年3月19日

コンピュータ科学分野のモデルカリキュラム作成作業を行っている。今年度は次の4文献を作成し、インターネット上のアドレス

<http://www.sb.cs.meiji.ac.jp/~hikita/csj2007/>

において公開している。

- [1] カリキュラムモデル案（中間報告） コンピュータ科学知識体系CS-BOK-J, 8ページ, 2007-03-06.
- [2] CS-BOK-J骨子（中間報告）, 28ページ, 2007-03-06.
- [3] CS-BOK-Jユニット一覧（中間報告）, 4ページ, 2007-03-06.
- [4] CC2001CS コンピューティングカリキュラム2001コンピュータ科学 付録A CS知識体系 (IEEE-CS ACM), 翻訳第1版, 95ページ, 2007-07-31.

情報処理学会全国大会での発表資料 [1] においては、カリキュラムモデルの作成方針、米国との背景の違い、前回の日本モデルカリキュラムJ97と今回作成案との違い、今回作成案と米国案との違い、来年度に残された作業、委員リストなどについて報告している。

文献 [2] が今年度作業結果としての、カリキュラムモデル案の中間報告であり、領域、ユニット、トピックの3レベルを記述している。さらに各ユニットについて、それがコアユニットであるかを指定している。

文献 [3] は [2] におけるユニット以上のレベルを抽出して一覧としたものである。

翻訳 [4] は昨2005年度に作業した結果であり、米国版CSカリキュラムレポートの付録A すなわち知識体系CS-BOKの部分の翻訳である。

ここでは2006年度のレポートとして、上記文献 [1]-[4]をまとめたものを報告する。